

第6週(2月3日～2月9日)の集計結果

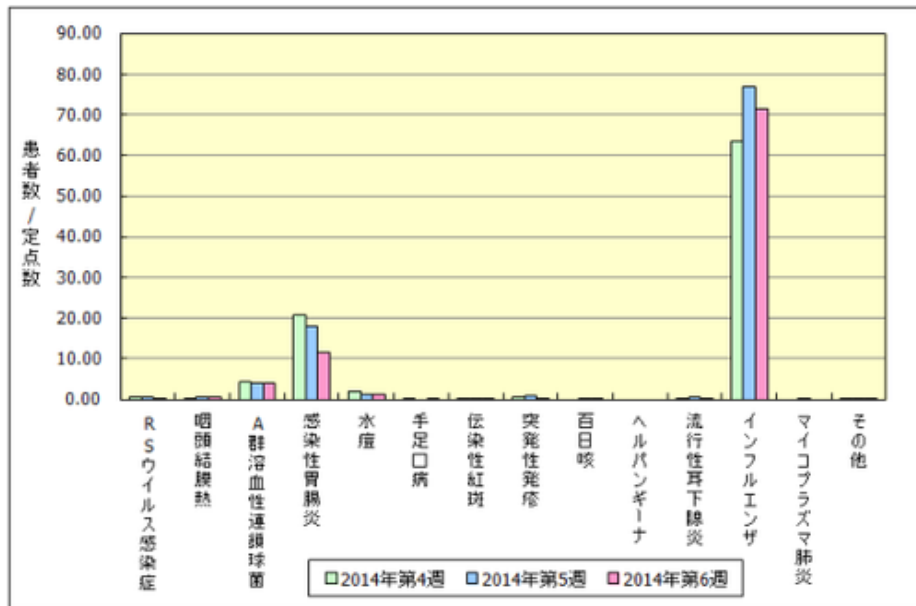
コメント

【今週の傾向】

○インフルエンザは、定点あたり71.6と先週より減少しましたが、依然警報レベルが続いています。

内訳は、A型432名、B型 540名、臨床診断30名となっており、B型の割合が多くなっています。

東京都全体でも「警報レベル」が続いています。手洗いの徹底やマスクの着用を心がけましょう。



第6週疾患毎発生状況グラフ

	2014年 第1週	2014年 第2週	2014年 第3週	2014年 第4週	2014年 第5週	2014年 第6週	中央北 部	西部	東南部	みずみ 野
RSウイルス感染症	1 ↓	9 ↑	7 ↓	9 ↑	6 ↓	4 ↓	1	2	1	0
咽頭結膜熱	3 ↓	14 ↑	5 ↓	3 ↓	8 ↑	9 ↑	0	0	7	2
A群溶血性連鎖球菌	2 ↓	46 ↑	47 ↑	62 ↑	55 ↓	56 ↑	10	21	18	7
感染性胃腸炎	15 ↓	193 ↑	234 ↑	288 ↑	252 ↓	163 ↓	63	41	51	8
水痘	7 ↓	22 ↑	9 ↓	25 ↑	17 ↓	17 →	3	1	13	0
手足口病	0 ↓	1 ↑	1 →	1 →	0 ↓	1 ↑	0	0	0	1
伝染性紅斑	0 →	0 →	2 ↑	1 ↓	2 ↑	2 →	1	1	0	0
突発性発疹	1 ↓	5 ↑	1 ↓	8 ↑	10 ↑	4 ↓	2	2	0	0
百日咳	0 ↓	1 ↑	1 →	0 ↓	1 ↑	2 ↑	0	2	0	0
ヘルパンギーナ	1 ↑	0 ↓	0 →	0 →	0 →	0 →	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	2 ↓	10 ↑	1 ↓	4 ↑	5 ↑	4 ↓	2	1	0	1
インフルエンザ	7 ↓	109 ↑	357 ↑	890 ↑	1079 ↑	1002 ↓	208	321	203	270
マイコプラズマ肺炎	0 ↓	2 ↑	2 →	0 ↓	2 ↑	0 ↓	0	0	0	0
その他	0 →	1 ↑	1 →	3 ↑	1 ↓	4 ↑	1	2	1	0

第6週疾患毎発生状況表

第6週	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ギーナ(ヘルパン)	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	マイコプラズマ肺炎	その他
～5ヶ月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1
～11ヶ月	2	0	0	3	1	0	0	3	0	0	0	14	0	0
1歳	1	1	3	14	1	0	0	1	0	0	0	25	0	1
2歳	0	0	4	13	4	0	0	0	0	0	0	39	0	0
3歳	0	3	3	14	5	1	0	0	0	0	1	55	0	1
4歳	0	1	9	20	1	0	1	0	0	0	1	74	0	1
5歳	0	1	8	18	2	0	1	0	0	0	2	95	0	0
6歳	0	0	11	14	0	0	0	0	0	0	0	88	0	0
7歳	0	1	5	12	1	0	0	0	0	0	0	91	0	0
8歳	0	1	4	11	0	0	0	0	0	0	0	72	0	0
9歳	0	0	2	8	0	0	0	0	0	0	0	85	0	0
10～14歳	0	1	6	18	2	0	0	0	0	0	0	236	0	0
10～12歳												147		
13～14歳												89		
15～19歳	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0
20歳以上	0	0	1	11	0	0	0	0	2	0	0	101	0	0
合計	4	9	56	163	17	1	2	4	2	0	4	1002	0	4

第6週年齢別発生状況表

地区ブロックの分け方

- ・ 中央・北部
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- ・ 西部
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- ・ 東南部
由木東事務所、南大沢事務所管内
- ・ みなみ野
由井事務所